

星空 観望会

毎週土曜日・午後7時～9時
場所：西合志図書館天文台
参加費無料
※雨天・曇天の場合中止します。
天候が優れないときは、来館前に電話でご確認ください。

☆自宅で観る11月の星空☆

真上を見ると秋の四辺形、ペガサス座が輝きます。秋の四辺形から東に延ばすとアンドロメダ座が見えます。
北極星との間には、ローマ字のWの形のカシオペア座、カシオペア座と比べると目立たないが五角形に並んだケフェウス座を見ることができます。

図書館掲示板

★西合志図書館(☎242-5555)

マインドシアター(入場無料)

と き 11月24日(土) 午後1時～
ところ 西合志図書館「集会室」
題 名 『ネバーエンディングストーリー』

おはなし会(入場無料)

と き 毎週土・日曜日 午後2時～
11月3・10・11・17・18・25日
12月1・2・8・9・15・16・23日
ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」

★西合志図書館天文台(☎242-5555)

ふたで座流星群観望会(入場無料)

と き 12月15日(土)
午後7時～9時
(雨天・曇天時中止の場合あり)

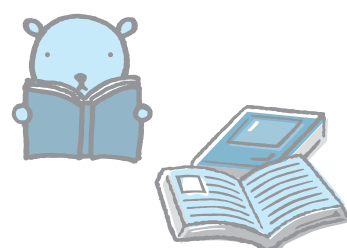
★合志図書館(☎248-5754)

ふれあい映写会(入場無料)

と き 11月18日(日) 午後1時30分～
ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ
題 名 『ふしぎの国のアリス』

ふれあいおはなし会(入場無料)

と き 毎週土曜日 午後2時30分～
11月10・17・24日
12月1・8・15・22日
ところ 合志図書館「おはなしコーナー」



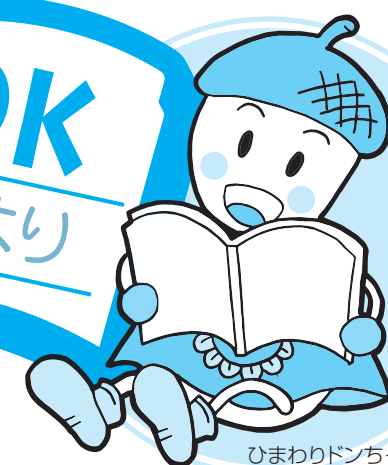
11・12月の休館日

11月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)・30日(金)
12月3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・28日(金)～1月4日(金)

移動図書館車 「ひまわり ドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡回しています。年間巡回予定表は西合志図書館・移動図書館車にあります。

BOOK 図書館だより



ひまわりドンちゃん

西合志図書館(☎242-5555)
合志図書館(☎248-5754)

『絆』 江上 剛 著

母ひとりの荒んだ家庭に育った康平。母の縊死により、村の有力者の息子で同級生治夫の家に預けられ、貧富の差から治夫と主従のような関係に葛藤する。

高度経済成長期からバブル崩壊の昭和～平成の時代を背景に、中小企業と大銀行を舞台に繰り広げられる熾烈な戦いを二人の「絆」を通して描いている。元銀行員ならではの著者渾身の感動物語！



『この6つのおかげでヒトは進化した
～つま先 親指 のど 笑い 涙 キス～』
チップ・ウォルター 編

わたしたち人間はどのようにして進化してきたのか？「人間らしさ」を決める人間だけの特徴とは何なのか？本書は人間の進化の特徴を6つに絞って、つま先から始まった体の進化が、人間特有の、感情表現を生み出す心の進化にまでつながってゆく過程を、順を追って分かりやすく解説しています。人類の、数百万年にも及ぶ壮大で不思議な進化の物語です。



新刊お薦め本

新着本

一般書

『約束の地で』 馳 星周
『新薬、ください！』 湯浅 次郎
『かわいい生活Vol.7』 主婦と生活社
『電笛嫋々』～酔いどれ小藤治留書8～ 佐伯 泰英
『風林火山 4 山の巻』 大森 寿美男
『愛に似たもの』 唯川 恵
『警官の血 上・下』 佐々木 譲
『名残り火～てのひらの闇2』 藤原 伊織
『三面記事小説』 角田 光代
『幸菌スプレー ～すっぴん魂7～』 室井 滋
『芋焼酎を極める』 西松 宏
『美しいきもの姿のために』 村林 益子
『やさしい毛筆年賀状』 山下 景雲
『立札と野点のくふう十二月』 秋山 宗和

児童書

『アンジェリーナのハロウィーン』(絵本) キャサリン・ホラバード
『こわくなんかないっ！』(絵本) ジョナサン・アレン
『てぶくろ山のポール』 井上 こみち
『しあわせおにぎり』 つちだ よしはる
『野生動物の首をしめるゴミ』 宮崎 学
『封印の娘』 香月 日輪
『はれときどきアハハ』 矢玉 四郎
『ポポのおみまい』(紙芝居) 福田 岩緒
『あかしろうんどうかい』(紙芝居) とよた かずひこ

DVD

『スーパー戦隊THE MOVIE』disc.1～4
『アメリカンバスタイム』～俺たちの星条旗～



「ホームレス中学生」 田村 裕 著

昨年あたりから、芸人が書く本の出版が相次いでいる。劇団ひとりの「陰日向に咲く」、千原ジュニア(千原兄弟)の「14歳」、河本準一(次長課長)の「一人二役」など、現在も図書館でよく貸し出されている。今回紹介する「ホームレス中学生」も人気お笑いコンビ麒麟の田村裕が自らの生い立ちを描

いた自伝小説。中学生の時父親から「家族解散」を宣言され、貧しい生活を余儀なくされる田村少年。悲惨な状況だが、多くの人に支えられ、困難を乗り越えてゆく。笑いとおつなさが詰まった読み物です。ちょっと読書は苦手だなという中高生にもオススメです。

今旬の本